

文部科学省のいじめや不登校の状況を調べた「問題行動調査」によると、2015年度のいじめの認知件数は、前年度より約2割多い22万4540件で過去最多でした。

いじめの内

容は、小中高いずれも「冷

やかしや悪口、脅し文句」が最も多く、高校では「パソコンや携帯電話で誹謗・中傷」も目立った。いじめの問題を抱えた児童生徒の自殺も、過去最多の9件ありました。

## いじめ認知過去最多

いじめの被害を防ぐためには、学校全体が「いじめはどこでも起きる」という危機感を持ち、児童生徒からの被害の訴えの対応や無記名アンケートの実施などに取り組み、また、家庭では、

日常生活の中で小さな変化をいち早く感じ取り、早い段階で実態を把握して対応することが大切です。いじめは人権侵害であり、絶対に許されないことを子どもたちに教えましょう。

防犯一口メモ